

令和3年度 事業報告

令和3年4月1日から

令和4年3月31日まで

1 事業の状況

① 研究助成事業

「令和3年度公益財団法人伊藤記念財団助成応募要項」を当財団のホームページにより掲載するほか、国公私立大学等に対する書面による掲示依頼の方法によって公募を行ったところ、助成の申請件数は、合計191件でした。専門委員会で選考を行い、理事会において助成の対象に決定した研究のテーマ、研究者、助成金額は、80件、110,000千円でした。

② 伊藤記念財団賞授賞事業

食肉に関する学術上の研究に優れた業績が認められ、将来の活躍が期待される研究者に伊藤記念財団賞を授与することとし、本年度は、2名の者に授賞し、その業績の概要(受賞理由)を「令和2年度食肉に関する助成研究調査成果報告書VOL.39」及び当財団のホームページに掲載したほか、第7回伊藤記念財団賞の授賞者の募集を行い、選考委員会において候補者の選考を行いました。令和4年3月2日開催の理事会において受賞者として決定した研究者は3名です。

③ 学会等事業助成事業

食肉に関して、研究水準が十分高く、かつ、経理的基礎と会員の広がりがあると認められる学会又は研究会等が実施主体となって行う①研究者の海外研究集会への派遣、②国内での国際研究集会の開催及び③国内学会・研究集会時におけるセミナー等に要する経費の一部に対して助成することとし、本年度は、3学会等に助成金を交付するとともに、令和4年度助成事業について募集要領を送付して申請を募り、理事会において審議し、助成対象を決定しました。

④ 大型研究プロジェクト事業

食肉の生産、処理、加工等に関して専門委員会を経て、理事会において課題、研究者、事業費等を決定し研究、調査を実施することとし、令和3年度は昨年度に続き「と畜・解体処理(特に牛の背割り)の自動化・効率化に関する研究開発」を課題として選定し研究を実施いたしました。また令和4年度につきましては「と畜・解体処理(特に牛の背割り)の自動化・効率化に関する研究開発」を継続して実施するとともに、新たに「食肉生産における温室効果ガス排出抑制技術の開発と検証」及び「牛伝染性リンパ腫の発症早期診断法の開発とその実践」を実施することについて専門委員会で審議を行い3月2日の理事会において決定いたしました。

⑤ 情報普及事業

創立 40 周年記念事業の一環として神戸市の伊藤傳三記念館において展示事業を行い、食肉や食肉加工に関する情報の普及や広報活動に努めました。完成式は行いましたが、新型コロナの影響から一般公開は令和 4 年度に延期となりました。

2 役員会の開催

- | | |
|-------------|-----------------|
| ① 第 31 回理事会 | 令和 3 年 4 月 28 日 |
| ② 第 32 回理事会 | 令和 3 年 6 月 10 日 |
| ③ 第 33 回理事会 | 令和 4 年 3 月 2 日 |

3 評議員会の開催

- | | |
|--------------|-----------------|
| 第 10 回定時評議員会 | 令和 3 年 6 月 10 日 |
|--------------|-----------------|

4 監事監査

- | | |
|-----|-----------------|
| 実施日 | 令和 3 年 4 月 14 日 |
|-----|-----------------|